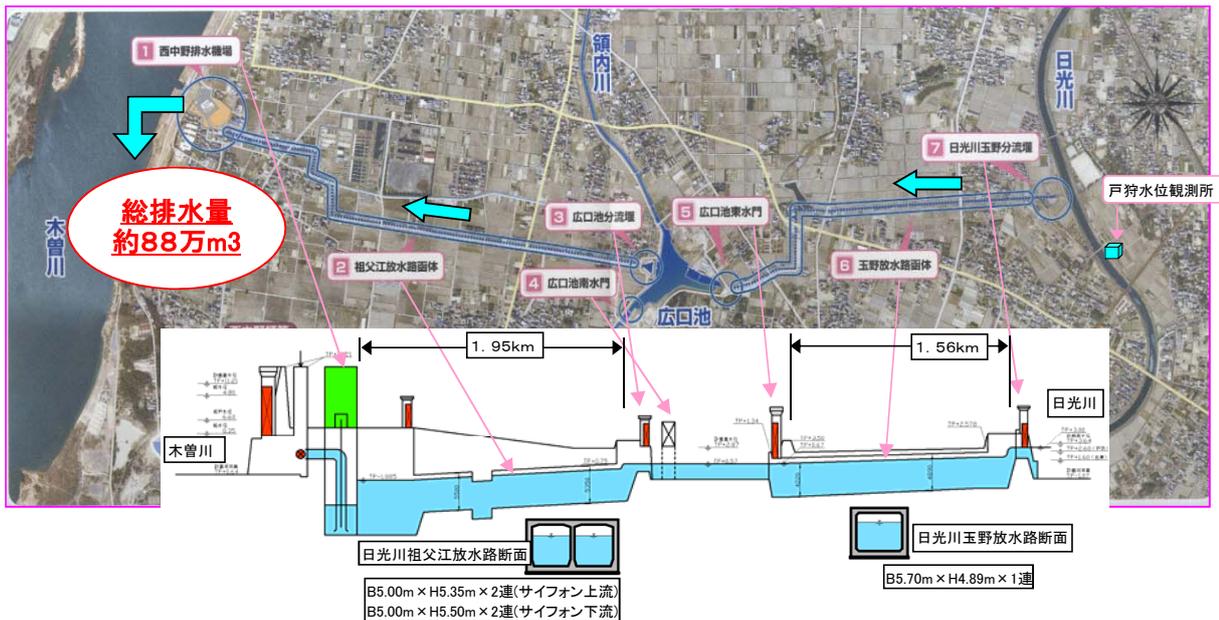


# 台風17号で日光川放水路稼働 ～25mプール約1,568杯分の洪水カット～

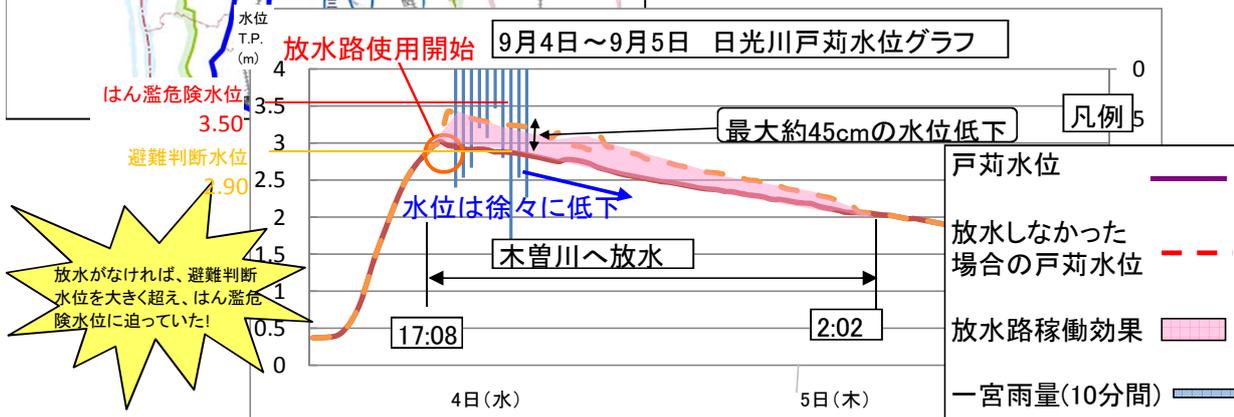
台風17号の影響で平成25年9月4日午後から深夜にかけて、東海地方は広い範囲で強い降雨があり、愛知県一宮市では累加雨量134mmを観測しました。

この雨で河川が増水したことから、日光川放水路により日光川及び領内川の洪水カットを行うことで、下流の浸水被害を軽減しました。日光川及び領内川から分流された水は日光川放水路を流下し、西中野排水機場で木曾川へポンプ排水されます。

西中野排水機場では、4日17時08分にポンプ運転を開始し、翌5日2時2分に停止するまでの間、約88万m<sup>3</sup>の排水を行いました。



- 戸刈地点の洪水カット量  
日光川流量の約28%を洪水カット
- 総排水量  
881,954m<sup>3</sup>・・・25mプール約1,568杯分！  
※小学校のプール(幅15m深さ1.5m)として計算しています
- 西中野排水機場ポンプ排水時間  
(4日)17時08分～(5日)2時02分



避難判断水位・・・洪水により相当な被害が発生するおそれのある河川(水位情報周知河川)を指定して、市町村長が発令する避難勧告等の目安となる水位「避難判断水位(特別警戒水位)」を設定しています。避難判断水位(特別警戒水位)を超えた場合は、市町村に知らせ避難情報を出しやすくしたり、報道機関を通じて公表し、住民が自主避難しやすくすることで、被害の軽減を目指しています。